

コーディネーターだより 第3号

一人一人を大切に作る週間① 6月16日(月)~30日(月)

各学年や学級がスタートしてから2か月余りが経ちました。梅雨時期にも入り、寒暖差も大きいこの時期は子どもたちの気持ちが落ち着かないこともあります。ご家庭で細かい表情やしぐさの変化から子どもたちの心の不調を感じられることがあるかもしれません。行き渋りや生活リズムの乱れなどありましたら、ぜひ学校にもご連絡いただければと思います。本校では自分を見つめ、他者生意識を育てるために「一人一人を大切に作る週間」を年間2回設定しています。第Ⅰ期は6月、第Ⅱ期は11月月です。第Ⅰ期の取組を紹介します。

① 朝会

全学年一斉での取り組みであることを周知するために、6月18日の朝会や校内放送などでねらいや内容を伝えてから始めます。

② コーディネーター授業

支援教育コーディネーターが各学年やクラスを回って授業を行います。今年度のテーマは「国際理解」です。ゲームやケース紹介を通して、国際理解について考えます。互いを尊重し、認め合う学級・学年づくりのために各自が心がけることを伝えていきます。

今年度はコーディネーターと国際教室担当の石原の2人で授業を全学年で行います。

③ 標語作り

今年も渡り廊下に全クラスの標語を掲示します。コーディネーター授業を受けて、担任と子どもたちがクラスをよりよいものに高められるように標語を考え、作成します。他学年の標語を見合うことで「全校で取り組んでいる」という意識をもてるようにしたいと考えています。

④ 「生活の振り返りアンケート」

一人一人の児童が安心して学校生活を過ごせることができているか、全児童を対象に実施します。友達との関わりや自分自身のこと、その他にスマートフォンやSNSの活用や金銭の使い方など多方面から振り返ることでいじめの早期発見や未然防止に努めます。

⑤ 「SOS 出し方受け止め方学習」

各学級で担任が実施。公開授業（日時は学年だより参照）になっていますのでご覧ください。

今年度、放課後や休日の過ごし方についてトラブルや心配事などのご相談をいただくことがあります。子どもたちの話を聞くと、おうちの方に伝えていないことや、まず警察にお知らせいただいた方がよいと思われるケースもありました。これからもご家庭と学校が連携しながら子どもたちを支えていきますので、引き続きご協力をお願いします。いつもありがとうございます。